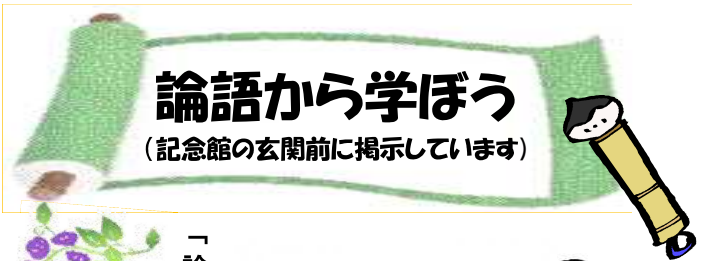


# よえもん



論語から学ぼう

(記念館の玄関前に掲示しています)

《 第68号 》(2020年8月発行)

了佐てらこや小学校



シリーズ  
よえもん

藤樹先生の弟子に大野了佐という人がいました。了佐は生まれつき、物を覚えたり理解することが苦手でした。父親が了佐には、とても武士のつとめは出来ないと考えていたため、了佐はお医者さんになりたいと思い、先生に必死でお願いしました。先生がわかりやすく書いた医学書を何度も何度も読みかえし、人一倍努力をして、りっぱなお医者さんになりました。

その了佐にならない、今年も夏休みに「了佐てらこや小学校」を8月7日に開校しました。小学校4年生から6年生の27人が集まり、論語の素読と習字を学習しました。



「論語」顔淵第十二 書 淵田瑞穂さん

君子は  
文を以つて友を會し  
友を以つて仁を輔く

立派な人になろうと志す人は詩や書の創作を介して友と会い、その友達同志の切磋琢磨(お互い競い合い励ましあいながら自分の力量を高めること)によって人としてあるべき道を実行して人間向上の助けとするものです。

織物は、縦糸に横糸が動くことによって美しい模様も現れます。人間もまた、縦糸にあたる指導者と習う者、横糸にあたる友達関係によって、麗しい人柄に形成されるものなのです。



## \* 記念館だより \*

6月発行の本広報紙でも書かせていただきましたが、2か月が経過した現在も依然各地でコロナ禍が猛威を振るっています。今でも来館者や本館を利用して研修される方に多くのご迷惑をおかけしています。団体来館者は観光バスで来館されることが多く、来館者数に関しては今後も厳しい状況が続くことが予想されますが、本状況下、本館職員で共通理解、共通実践を心がけていますのは、安全安心を最優先にしながら、来館くださる数少ない貴重な方々に中江藤樹やその門下生等先人の案内についてできる限りの対応をし、満足感とともにご帰宅いただこうということです。

近江聖人中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69 TEL:FAX (0740)-32-0330

